

鴨川納涼2022

開催要領(案)

1 開催趣旨

鴨川美化啓発活動として昭和44年から開催され、京都の夏の風物詩として府民や観光客に定着している「鴨川納涼」については、平成26年度から京都府を中心とする鴨川納涼実行委員会が主催となり、河川愛護・環境保全の啓発並びに府内及び全国の観光・物産の振興を図り、交流と憩いの場を提供している。

今年度は「鴨川納涼2022」として、新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で、府内市町村・各県人会等からの物産出展や、河川美化・環境の啓発、伝統産業等のPRなどを行うとともに、2つのステージ（中央ステージ、鴨川ふれあい空間ステージ）を設け、賑わいを創出する。

2 主催

鴨川納涼実行委員会（実行委員長 山下晃正京都府副知事）

構成団体：京都府、京都市、京都商工会議所、（公社）京都府観光連盟、
（公社）京都市観光協会、（一社）鴨川流域ネットワーク、
鴨川を美しくする会、京都ふるさとの集い連合会
《実行委員会事務局：（公社）京都府観光連盟》

3 協力(予定)

京都鴨川納涼床協同組合、先斗町のれん会、木屋町会、京都府賀茂川漁業協同組合

4 後援団体(予定)

京と地球の共生府民会議、（公財）琵琶湖・淀川水質保全機構、きょうと地域創生府民会議、
京都府地球温暖化防止活動推進センター、京都新聞、朝日新聞京都総局、毎日新聞京都支局、
読売新聞京都総局、産経新聞社京都総局、日本経済新聞社京都支社、NHK 京都放送局、
KBS 京都、エフエム京都、（一社）京都府医師会

5 開催期間・時間

令和4（2022）年8月6日（土）17:00～21:00
7日（日）17:00～21:00

6 開催場所

鴨川三条大橋～四条大橋 右岸河川敷

7 内容

(1) ブース出展エリア

- ① 河川美化・環境啓発エリア
 - ・河川美化、水環境保全、地球温暖化防止等の啓発
- ② 伝統産業PRエリア
 - ・染織団体等による伝統産品等の展示即売 など
- ③ 府内市町村エリア
 - ・観光連盟による府域の観光PR
 - ・府内市町村の地元特産品等の展示即売【令和元年度は8市から12ブース出展】
- ④ 全国郷土エリア
 - ・京都ふるさとの集い連合会（各県人会）による全国のふるさと産品の展示即売
【令和元年度は36道府県出展】

(2) 友禅流し実演（京都染織青年団体協議会）※両日とも2回実演

(3) ステージイベント（開演時間：両日とも17:00～21:00）

- ① 中央ステージ ※主に郷土・地域や伝統系
- ② 鴨川ふれあい空間ステージ ※主にパフォーマンス系
【令和元年度は両ステージ出演数 合計31組（各ステージ1日あたり約8組）】

「京の七夕」事業の概要について

令和4年6月17日
京 都 府 観 光 室

1 目的

京都ならではの現代版・七夕を実施し、京都の新たな夏の風物詩となるよう、オール京都で盛り上げ、観光の振興及び和装をはじめとする京都の産業の振興を図ることを目的とする。

2 主催

京の七夕実行委員会：平成22年4月14日に設立

京都府、京都市、京都商工会議所、京都仏教会、京都府神社庁、公益社団法人冷泉家時雨亭文庫、京都市観光協会、京都府観光連盟、京都文化交流コンベンションビューロー、京都府中小企業団体中央会、京都伝統工芸産地協会、京都商店連盟、京都青年会議所

3 令和4年度の京の七夕の方向性

京の七夕は、京都各地で実施される民間主導の事業との連携による事業運営へと、より一層のシフトを図る。

具体的には、京の七夕実行委員会が経費を負担して主催するイベントは終了し、民間が各エリアで実施されるイベントと連携することで、観光客の回遊性を高め、夜間観光及び宿泊観光を推進する。

4 事業内容（案）

市、府の主催事業は行わず、主に旧暦8月に各事業者が行う七夕事業の広報や、笹飾りの配布等の支援を行うとともに、日本全国における「京の七夕」の認知度の向上及び誘客に繋げる。

(1) 「京の七夕」事業の情報収集、広報

- ・公式サイトのリニューアル
- ・チラシ、ポスターの作成
- ・エリアマップの作成
- ・SNSの活用

(2) 伝統産業振興

- ・和装特典の店舗協力

(3) 願い事短冊募集、お焚きあげ

- ・リアル箱募集とHP募集と連携イベント会場募集

(4) 笹・短冊箱の提供

- ・商店街への提供